

# 長岡市防災玉手箱とは・・・

「先生方の負担を軽減しよう！地域みんなで防災教育を支えよう！」という市民の声から作られた体験的な防災学習プログラム集とその指導ができる人を派遣する仕組みです。活用を強要するものではありません。学校が困った時に使う「**防災教育の薬箱**」です。

悩んでませんか？

## 防災教育とは言うけれど・・・

- ・ 避難訓練の一工夫
- ・ 新潟県防災教育プログラムや長岡市防災教育パンフレットを使った防災学習等々



どんな活動をしたら、  
自分の学校や子ども・地域の特性に  
合った活動ができるのだろう・・・

長岡市防災玉手箱 には、

- ・ 「体験的な防災学習をやろう！」と思った時に使える **体験プログラムの手順** や **参考資料** が入っています。

長岡市防災玉手箱 は、学校・地域・家庭が連携した防災教育を支えるサポートとして、

- ・ 「地域の方等から過去の災害時の体験談を聞きたい」と思った時に **相談窓口** が、**内容に合った講師の紹介やコーディネート** をします。
- ・ 避難訓練や防災教育のアイデア・工夫が知りたい時には、**相談窓口** が、**参考資料の提供** や **計画作りの相談** など、様々なご要望に対応します。

## 防災教育に取り組みたい学校をワンストップの相談窓口がサポート 学校の負担軽減し、地域一体で支える、長岡市の防災教育



平成27年2月  
県内全小・中に配布



平成29年  
市内全82校に設置

- 市内全小・中学校のよろず相談窓口  
単元開発や授業づくりのサポート  
避難訓練や行事等のアレンジ  
指導案・教材資料の提供や貸出  
講師のコーディネート・派遣 等
- 玉手箱の更新と追加（年1回程度）  
使い勝手や改善点等をヒアリング  
追加教材・改定資料を作成後、学校に  
届けて説明・玉手箱の加除 等
- 持続可能な仕組みづくり  
講師や外部団体等サポーターの追加・制度  
地域に介在する学校の理解者の育成 等



相談窓口

# 平成 30 年度長岡市防災玉手箱 相談窓口への相談内容（抜粋）

## 避難訓練の見直しや工夫

- ・学校所在地の地域性に合った訓練や学習内容について相談したい。
- ・事前や事後学習として、専門家や地域の方等の講話+体験活動をやってみたい。

## 家庭や地域との連携

- ・参観日や PTA 活動で、大人と子どもと一緒に学べる学習をしたい。

## 総合的な学習の時間の計画づくり

- ・単元開発や活動内容について相談したい。

## クラブ活動の工夫

- ・放課後の調理クラブで、災害食作りを体験させたい。

## 防災教育で相乗効果

- ・ファシリテーションを取り入れて、子どもが主体的に考える学習をしたい。

## 資料の提供・貸出

- ・自地域の被害写真や授業を進めやすくするパワーポイント等の資料がほしい。



## 【参考】防災教育に取り組みたいけど・・・困ったときのフローチャート

